



実施報告

ONE DAY I-PAL COLLEGE 2019

2019年8月24日(土) 13:00~17:00

今年はアイパル30周年を記念して、例年ご好評いただいている夏休み英語講座を、英語漬けの一日「ONE-DAY I-PAL COLLEGE」として開催しました。今回のテーマは「Language」。当日は43名の方が受講し、世界各地で話されているさまざまな言語、そして、そうした言語を通して見えてくる歴史や人々の生活、文化の多様性などについて英語をツールとして学びました。

Class1 : World Englishes

講師：ジェラディン・マクラハン (出身：アイルランド)



歴史の中で英語がどのように広がり、また、それぞれの国や地域でどのように使われてきたのかを学びました。イギリス英語とアメリカ英語の違いや、シンガポール、アイルランドなど異なる国・地域で話されている英語のそれぞれの特徴などについて知り、英語が世界中でさまざまな目的によって変容を遂げてきた言語であることを改めて感じました。



Class2 : Languages and Cultures in Brazil

~A closer look at Brazil's immigrant population and its present influence~

講師：ジェルソン・ロツシャ (出身：ブラジル)

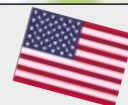


ブラジルの多様性の背景にある移民の歴史について学びました。現在ブラジルで話されているポルトガル語に見られる、イタリア語やドイツ語、日本語の影響をはじめ、食、建築、お祭りなどの文化に移民が与えた影響についても触れながら、ブラジル社会の中で移民がそれぞれの地位を確立し、文化を築いてきた様子を振り返りました。



Class3 : Dialects, Accents, and Minority Languages in the US

講師：オーガスト・ホールドリッチ (出身：アメリカ)



アメリカ英語の中にある、地域や所属するコミュニティによる違いを見ていきました。受講者同士で地域ごとの方言を練習したり、アフリカ系アメリカ人の会話の動画を観て、その特徴を体感したりしました。また、ネイティブアメリカン(先住民)やドイツ、メキシコ、スペインからの移民の言語と文化についても触れながら、異なる文化的背景をもつ人々が今のアメリカの多様性を形作ってきたことを学びました。



受講者の声：

- 英語だけで過ごすことができ、いい経験になりました。
- 講師の先生方の話す内容がとても濃く、充実していました。
- 生きた英語が学べて楽しかったです。
- 英語がこんなにも多様だと知らなかったのが驚き、英語への興味がますます深まりました。